

ルワンダ平和アカデミーの 能力強化



ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：21万米ドル

主なパートナー：防衛省、ルワンダ平和アカデミー（RPA）

目的

このプロジェクトは、ルワンダ平和アカデミー（RPA）の訓練および財務的サステナビリティに関する能力を改善することなどにより、同校が東アフリカ地域にて卓越した平和維持活動に関する訓練拠点となる能力を強化することを全体的な目的としています。

平和構築および平和維持に関する能力の構築は、これらに関する能力の差への対応にあたって大きな役割を果たし、長期的な視野に立てば、地域に持続可能な平和を確立させることに寄与します。

アカデミーに対する平和構築と平和支援活動の訓練の依頼は増加しているため、このことは非常に重要です。このプロジェクトにより、RPAが平和構築のほか紛争の予防と管理の分野においても高い水準の訓練を提供するための訓練、研究および財務に関する能力が強化されます。

プロジェクトの成果

成果1：地域および国家の平和維持活動への従事者の能力を強化すること

SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標5、10および16に貢献します。



From
the People of Japan

開発課題

2016年、RPAの戦略5カ年計画（2016年～2021年）が策定され、様々なステークホルダーおよびパートナーと共有されました。

この計画では早急な対応が必要な、以下の5つの戦略分野を特定しました。RPAの組織と能力の開発、訓練プログラムの強化と実施、研究開発、同時に進行している問題、とりわけジェンダーや人権、環境などに関する問題を主要課題に組み入れること、そして広報およびネットワークづくりです。

設定された目標のほとんどは資金不足のために遅延しており、ルワンダ内外におけるパートナー機関と受益者の平和構築に向けた成果に影響を与えています。

そのため、期限を迎える前に計画実施を加速化させることが早急に求められています。

東アフリカ諸国では、地域の平和と安定に忍び寄る脅威に対して速やかに適切な対処を行う必要性が増しており、計画の実行を加速させるには、財政面、技術面の両方におけるリソースが必要です。